



串高近くの長崎鼻、灯台の近くまで行くと、海を背にして歌碑が立っています。

「右も海 左も海の 色蒼く 沖の小島に 想ひはふかし」……ご存じでしょうか。

大正三美人の一人と言われる柳原白蓮（やなぎはらびゃくれん）が、かつて串木野を訪れた際に詠んだ歌です。2014年のNHK連続ドラマ小説「花子とアン」で仲間由紀恵が演じたことによって、白蓮は日本全国に再認識されました。この歌にある「想ひ」とは、その美貌からイメージされるような色艶やかなものではなく、昭和20年に戦死した我が息子への想いを目の前の絶景に重ね合わせたものらしいです（参考：鹿児島県HP「柳原白蓮の歌碑を紹介します♪」）。

町歩きしていると、いろいろなものに巡り会います。では、今週の串高を振り返ります。

### ○ 21日(月)の全校朝礼で、生徒たちにこんな話をしました。

- ・ アンジェラ・アキの「手紙～拝啓 十五の君へ～」の2番の歌詞の内容は、迷い苦しんでいる「十五の自分」に対する「未来の自分」からのメッセージだ。その内容は「自分とは何かを問い続ければ見えてくる」、「自分の声を信じ歩けばいい」……このアドバイスをどう思うか。
- ・ さらには「大人の僕も傷ついて、眠れない夜はあるけど、苦くて甘い今を生きている」とも。「未来の自分」からの手紙内容は、苦しんでいる十五の自分、君たち世代にとっては期待外れの答えに感じるかも。何か物足りなさを感じるかも。でも、一応、君たちの3倍以上の人生を生きてきた私からしたら、そういうもんだよなあと思う。共感できる。名曲だよなあと思う。
- ・ さて、新年度が始まってみると、連続した毎日の中では、昨日の自分と今日の自分の変化は見えにくいと思う。あまり実感がわかないだろうが、君たちはちょっとずつ日々変化している。何も変化がないのなら、真に「今を生きている」ことにはならないと思う。
- ・ 知らなかったことを知り、できなかったことができるようになったことをしっかりと自覚してほしい。ちょっとずつでも確かに成長している(成長しようとしている)自分を信じていることができれば、達成感や自己肯定につながる。寝る前に、一日を振り返ってみてほしい。
- ・ 歌詞の中には Keep on believing とある。自分自身の可能性を信じ続けることがまずは大事。「今」は、そのきっかけとなる時期だ。

### ○ 23日(水)の放課後は、イースター・エッグハントで盛り上がった！

英語のHintを手がかりに、卵(もちろんおもちゃです。中にはお菓子)を探す生徒たちの様子のなんと楽しそうなこと！……それにしても、本物の卵は最近ずっと高値(>\_<)。



28日(月)の遠足は天気が心配。一家に1つてるてる坊主！ 串木野高校、頑張っています！（文責 立森）